

7月は障害基礎年金の現況届提出月です!

対象者 障害基礎年金の受給者で

○20歳前に初診日のある障害により年金を受けている人

(年金証書の年金コード上2桁が63の人) 例 年金コード「6350」

○旧国民年金法による障害福祉年金からの移行(裁定替え)により年金を受けている人

(年金証書の年金コード上2桁が26の人) 例 年金コード「2650」

対象となる人には、日本年金機構熊本事務センターから7月上旬までに「現況届」が送付されますので、必要事項を記入し、7月末日までに市民課(各総合支所民生課市民係)窓口へ提出してください。なお、現況届に併せて診断書を提出しなければならない場合には、現況届欄のある診断書が送られてきますので、医師に記入してもらい期限までに提出してください。

疾病によっては、レントゲンフィルムや心電図などの添付が必要となることがあります。

上記の年金を受け始めてから1年以内の人、年金が全額支給停止となっている人、および障害基礎年金

の額が障害の程度が変わったことにより改定されてから1年以内の人は、現況届を提出する必要はありませんので、現況届は送付されません。

自分で記入できないため、親族など代理の人が記入する場合は、受給権者の欄などをめれなく記入し、「代理人署名欄」に代筆者の氏名・住所を記入してください。

※住民基本台帳ネットワークにより現況が確認された人についても「所得状況届」が送付されるので、同様に提出が必要です。

国民年金の付加年金をご存知ですか?

定額の保険料と付加保険料をあわせて納めた人に、老齢基礎年金に上乗せして受給することができる年金です。

付加保険料(月額400円)を納付することができる人は?

第1号被保険者(65歳以降の任意加入被保険者を除く)だけが加入し納めることができます。ただし、保険料の免除を受けている人や国民年金基金の加入者は納めることができません。

※付加保険料は納付期限(翌月末日)までに必ず納めてください。

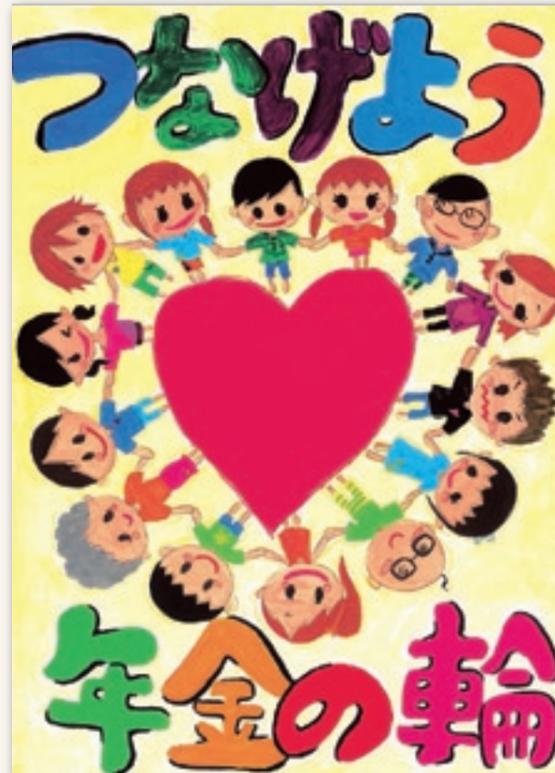
※農業者年金の被保険者は必ず納めなければなりません。

年金額は?

付加年金の年金額は次の式により計算され、老齢基礎年金に上乗せして支給されます。

年金額 = 200円 × 付加保険料を納付した月数

※付加保険料の年金額は、年金額の改定が行われた場合でも改定されません。



6/2 (水) 菊池北中学校で 乳児ふれあい学習

菊池北中学校(渡邊和博校長)で乳児ふれあい学習が行われ、2年生96人が参加しました。生後4~8カ月の赤ちゃんとお母さんに協力してもらい、抱っこやおむつ交換などを体験しました。

最初は「泣いてしまっただうしたらいいか困った」と不慣れな手つきで触れていた生徒たち。お母さんたちから育児の喜びや苦勞を聞きながら、親になる責任を学び、終わりごろには自分から声をかけたり、抱っこできるようになりました。



抱っこの様子

5/16 (日) 第10回全日本少年少女 空手道選手権大会出場決定

全日本少年少女空手道選手権大会の予選会が、菊池市総合体育館で開かれ、烈士館の子どもたちが参加しました。

各部門で準優勝を勝ち取った3人の子どもたちは、8月に東京の武道館で行われる本大会への出場が決まりました。

1年男子個人組手 準優勝 園田祥瑛(七城小)

2年男子個人形 準優勝 本田夢翔(隈府小)

4年男子個人組手 準優勝 中松亮太(戸崎小)



全国大会もがんばってください

6/18 (金) 菊池市の交通体系、国土交通大臣表彰を受賞

菊池市の交通体系に関する取り組みが評価され、東京で行われた表彰式で国土交通大臣から表彰されました。

これまで、国の補助事業などを活用して成功した5つの団体が受賞してきましたが、本市は国の事業を活用せずに成功している点や自治体が直接の受賞団体である点でともに初めてのことになります。

本市は、全国に先駆けて、平成13年度より、市内の交通体系の見直しに着手し、路線バスの見直し、市街地巡回バス「べんりカー」の導入、事前予約制乗合タクシー「あいのりタクシー」の導入を行ってきました。中でもあいのりタクシーは、全国的に「菊池市方式」として名を馳せ、全国各地から年間50件以上の団体が視察に訪れます。

交通体系の構築は、交通事業者間の事業調整や、さまざまな団体との調整、国の許認可に大きく左右されますが、計画段階におけるこうした調整能力の高さ、運行面での住民サービスの向上、費用面での行政の財政負担の大幅な削減などが、最高の評価を受け、全国に認められたものです。



表彰式での三日月副大臣(中央)と福村市長(中央右)、交通担当の笹本参事(中央左)

今回、国土交通大臣表彰を受賞しましたが、市内には交通不便地区が残されており、今後、一層の努力が必要だと認識しています。今後も市民の皆さんと一緒に、より良い交通体系の構築を図りたいと考えています。